

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 3 区分
【発行日】令和 3 年 4 月 30 日 (2021.4.30)

【公開番号】特開 2020-107041 (P2020-107041A)
【公開日】令和 2 年 7 月 9 日 (2020.7.9)
【年通号数】公開・登録公報 2020-027
【出願番号】特願 2018-244671 (P2018-244671)
【国際特許分類】

G 0 6 F 21/62 (2013.01)

【F I】

G 0 6 F 21/62 3 1 8

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 3 月 9 日 (2021.3.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の情報処理システムを含む分散処理システムであって、
前記複数の情報処理システムの夫々は、
利用者を識別する第 1 識別情報に前記利用者の媒体の第 2 識別情報を対応させた、前記
複数の情報処理システムに共通の第 1 情報を記憶する記憶部と、
前記媒体の情報が読み取られる際に取得される前記第 2 識別情報と、前記第 1 情報とに
基づいて、前記第 1 識別情報を特定する特定部と、
前記特定部で特定された前記第 1 識別情報に基づいて、自身に固有な処理を実行する処
理部とを備え、
各前記情報処理システムに固有な処理は、ユーザが購入した権利に関する権利情報を参
照して当該権利情報を書換えること
を含むことを特徴とする分散処理システム。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の分散処理システムであって、
前記特定部は、
前記自身に関するサービスを利用する顧客の第 3 識別情報に前記第 1 識別情報を対応さ
せた、前記自身に固有な第 2 情報と、特定された前記第 1 識別情報と、に基づいて、前記
利用者の前記第 3 識別情報を特定すること、
を特徴とする分散処理システム。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の分散処理システムであって、
前記処理部は、
前記第 3 識別情報に基づいて、前記第 3 識別情報に対応して前記自身の前記記憶部に記
憶され、前記第 3 識別情報の前記利用者に提供されるサービスの内容を示すサービス情報
を特定すること、
を特徴とする分散処理システム。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の分散処理システムであって、
前記複数の情報処理システムの夫々は、

第 1 設定情報に基づいて、前記第 3 識別情報の前記利用者に提供されるサービスが利用可能か否かを設定する第 1 設定部を含むこと、
を特徴とする分散処理システム。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の分散処理システムであって、
前記第 1 設定部は、

前記サービス情報に前記第 3 識別情報の前記利用者に提供される複数のサービスを示す情報が含まれている場合、前記複数のサービスを示す情報の夫々の優先度を設定するための第 2 設定情報に基づいて、前記複数のサービスを示す情報の夫々の優先度を設定すること、

を特徴とする分散処理システム。

【請求項 6】

請求項 3 ～ 5 の何れか一項に記載の分散処理システムであって、
前記複数の情報処理システムの夫々は、

前記複数の情報処理システムの夫々の前記サービス情報から選択された少なくとも 2 つの前記サービス情報に基づいて、前記利用者に提供される新たなサービスを設定する第 2 設定部を含むこと、

を特徴とする分散処理システム。

【請求項 7】

請求項 1 ～ 6 の何れか一項に記載の分散処理システムであって、
前記記憶部は、

前記分散処理システムに接続された複数の端末の夫々に前記複数の情報処理システムを対応させた、前記複数の情報処理システムに共通の第 3 情報を記憶し、

前記複数の情報処理システムの夫々は、

前記複数の端末のうち前記媒体の前記第 2 識別情報を読み取った読取端末と、前記第 3 情報とに基づいて、前記第 2 識別情報を、前記複数の情報処理システムのうち前記読取端末に対応する情報処理システムに送信する送信部と、

を含むことを特徴とする分散処理システム。

【請求項 8】

複数の情報処理システムを含む分散処理システムの前記複数の情報処理システムの夫々が、

利用者を識別する第 1 識別情報に前記利用者の媒体の第 2 識別情報を対応させた、前記複数の情報処理システムに共通の第 1 情報と、前記媒体の情報が読み取られる際に取得される前記第 2 識別情報とに基づいて、前記第 1 識別情報を特定し、

特定された前記第 1 識別情報に基づいて、ユーザが購入した権利に関する権利情報を参照して当該権利情報を書換えることを含む自身に固有な処理を実行する、

ことを特徴とする情報処理方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

前述した課題を解決する本発明の複数の情報処理システムを含む分散処理システムは、前記複数の情報処理システムの夫々は、利用者を識別する第 1 識別情報に、前記利用者の媒体の第 2 識別情報を対応させた第 1 情報を記憶する記憶部と、前記媒体の情報が読み取られる際に取得される前記第 2 識別情報と、前記第 1 情報とに基づいて、前記第 1 識別情報を特定する特定部と、前記特定部で特定された前記第 1 識別情報に基づいて、自身に固有な処理を実行する処理部とを備え、各前記情報処理システムに固有な処理は、ユーザが購入した権利に関する権利情報を参照して当該権利情報を書換えることを含む。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

また、本発明の情報処理方法は、複数の情報処理システムを含む分散処理システムの前記複数の情報処理システムの夫々が、利用者を識別する第１識別情報に前記利用者の媒体の第２識別情報に対応させた、前記複数の情報処理システムに共通の第１情報と、前記媒体の情報が読み取られる際に取得される前記第２識別情報とに基づいて、前記第１識別情報を特定し、特定された前記第１識別情報に基づいて、ユーザが購入した権利に関する権利情報を参照して当該権利情報を書換えることを含む自身に固有な処理を実行する、ことを特徴とする。